

第 5 学 年 家 庭 科 学 習 指 導 案

5 年 1 組 指 導 者 重 枝 孝 明

題 材 どのような視点で考えたらよいの？「買い物の仕方や物の選び方」

1 本題材で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

生活事象を家庭科の「生活の営みに係る見方・考え方」である4つの視点（①協力・協働②健康・快適・安全③生活文化の継承・創造④持続可能な社会の構築）で捉えること

2 本題材で、各教科等の本質（見方・考え方）の創出と受容、転移を行っている子どもの姿

本学級の子どもたちは、これまでに、裁縫では「より丈夫にするにはどのように縫えばよいか」、整理整頓では「どのような整理整頓をすると物が使いやすいか」など、1つの視点から問いを設定し、工夫を考える学習を行ってきた。このような子どもたちが、上記の4つの視点をもとに買い物の仕方や物の選び方を考える学習に取り組む。このことは、生活事象をより広い視野で捉え、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うことにつながるであろう。

本題材で扱う「買い物の仕方や物の選び方」は、各家庭によって考え方が異なり、また、場面や状況によって判断も異なるため、4つの視点で生活事象を捉えていくのに適した題材であると考えられる。子どもたちは、欲しい物を「どのように買うか」や「どのように手に入れるか」といった問いについて、生活経験をもとに考えていく中で、4つの視点に気付いていくであろう（創出）。そこで、自分とは異なる視点に触れたり、その視点で判断した根拠を考えたりしながら、4つの視点で捉えることのよさを自覚できる（受容）ようにしたい。そして他の題材でも、これらの4つの視点で生活事象を捉えることができるかを考えていく（転移）。そうすることで、本題材以降の学習において、4つの視点を自覚的に使いこなすことができるようになることを考える。

そこで、以下のような支援を具体化し、本題材でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 問いについて考える際、子どもの生活経験から挙げられた視点を、具体例やその視点で捉えることのよさを明示化しながら整理する。そうすることで、4つの視点に気付くことができるようにする。【創】
- 1単位時間の中で、自分の判断がどのように変化したり深まったりしたかを考える場面を設定する。そうすることで、4つの視点で生活事象を捉えるよさを自覚することができるようにする。【受】
- 題材の終末には、教科書を見ながら、どの題材をどの視点で捉えることができそうかについて考える場面を設定する。そうすることで、他の題材でも4つの視点で捉えられることに気付き、今後も4つの視点を意識しながら学習を進めていくことができるようにする。【転】

3 本題材の目標

- 4つの視点をもとに買い物の仕方や物の選び方について考えることができるようにする。
- 生活事象を広い視野で捉え、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うことができるようにする。

4 本題材における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○ 4つの視点を理解することができる。 ○ 購買活動の仕組みや消費者の役割を理解することができる。	○ 4つの視点をもとに買い物の仕方や物の選び方について考えている。	○ 自分にとってよりよい買い物の仕方や物の選び方について繰り返し考えている。

5 指導計画（全3時間）

第1次 買い物の仕方や物の選び方について考えよう（3時間）【本時3／3】

6 本時案 【令和2年11月11日 9:20~10:05 5年1組教室】

- (1) ねらい 4つの視点をもとに、担任や自分の家族に合った物を選ぶことをとおして、4つの視点で生活事象を捉えるよさを自覚することができるようにする。
- (2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 担任の家族が食べるおやつについて考える。(20分)</p> <p>・4つの視点 「協力・協働」 「健康・快適・安全」 「生活文化」 「持続可能な社会」 ・担任の家族の状況</p>	<p>・先生が実家に帰ったときに家族で食べるおやつに何を選ぶかについて考えるのだね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>家族で食べるおやつは何がよいのかな</p> </div> <p>B <u>ういろいろがよいのではないかな。和菓子だからおばあちゃんも好きだろうし、「生活文化」の継承の視点にもつながるよ。</u></p> <p>・「持続可能な社会」の視点から考えると、ういろいろは山口市の特産品だから、地産地消になってよいね。</p> <p>・ぼくはポテトチップスがよいと思うよ。</p> <p>A それだったら、作ったらよいのではないかな。手作りだと、「健康」にもよいし、一緒に作ったら楽しいね。「協力」の視点から考えてもよいと思うよ。</p> <p>B <u>ぼくは「生活文化」で考えていたけど、「健康」も大事だと思ったよ。4つの視点で考えると、よりよい判断ができるね。</u></p>	<p>○子どもが選んだおやつについて発言した際には、その根拠を問う。そうすることで、視点を意識して考えることができるようにする。【創】</p> <p>○自分の判断がどのように変化したり深まったりしたかを考える場面を設定する。そうすることで、4つの視点で生活事象を捉えるよさを自覚することができるようにする。【受】</p> <p>○教科書を見ながらどの題材をどの視点で捉えることができそうかを考える場面を設定する。そうすることで、他の題材でも4つの視点で捉えられることに気づき、今後も4つの視点を意識しながら学習を進めていくことができるようにする。【転】</p>
<p>2 自分の家族の場合について考える。(15分)</p> <p>・自分の家族の状況</p>	<p>・自分の家族だったらどうか。</p> <p>A 私はおせんべいかな。お父さんのことを考えて、甘いものを控えるようにしたよ。</p> <p>・「健康」の視点で考えているのだね。</p> <p>・先生のとときと自分のとときで選んだものが変わったよ。4つの視点の中で大事にするものは、場面によって変わりそうだね。</p>	
<p>3 4つの視点で捉えられそうな題材を考える。(10分)</p> <p>・4つの視点と題材</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>4つの視点は他の題材でも考えられそうかな</p> </div> <p>・「<u>食べて元気に</u>」では、<u>食事のことだから「健康」の視点と関係がありそう</u>だ。和食も出ているよ。これは「生活文化」の継承の視点で考えられそうだね。</p> <p>・今後、4つの視点を意識して学習しよう。</p>	

(3) 板書計画

※ 買い物の仕方や物の選び方

① 先生の家族
先生、奥さん、いちのすけ、赤ちゃん、父母、祖母
60~70代、2人
健康・快適・安全
生活文化の継承と創造
持続可能な社会
協力する、助け合う

② 自分の家族
何について考えるのかわからない

家族で食べるおやつは何がよいのかな

おやつの画像

4つの視点(考えること)
健康だけではない
協力するは自分には
迷わせないものを選べる

健康 → 手取り油
甘い、しょっぱい
和菓子お好み
和菓子 残す
はやく文化の変化
地産地消
山口市
作れる
カロリー低いハンシー

氷からの学習では...
健康・快適・安全
食べて元気に
ごはん、みそ汁
生活文化の継承と創造
協力する、助け合う
1日の生活時間

① 健康 協力 ② 健康はいい ③ 山崎町おやつ ④ 洋菓子 ⑤ 家での ⑥ 家での